

報道機関のお問い合わせ先：

元利 大輔 +81 3 5511 7571 または daisuke.motori@morningstar.com

イモーゲン・ウォン +852 2973 4646 または Imogene.Wong@morningstar.com

即日発表

米国 Morningstar が、世界各国のファンド市場における「手数料・費用」の評価結果を発表。ファンド費用の低下は続くも、業界構造には改善の余地が残る

「グローバル・インベスター・エクスペリエンス (GIE)」の第1章である「手数料・費用」では、オーストラリア、オランダ、米国が再び「上位」の評価を獲得し、イタリアと台湾が引き続き「下位」に

2022年3月31日東京発-- 独立系大手投資調査会社の米国 Morningstar (Morningstar, Inc.、NASDAQ: MORN) は本日、隔年で発行している「グローバル・インベスター・エクスペリエンス (GIE)」レポートの第1章にあたる「手数料・費用」を発表しました。今回で7回目の発行となる GIE レポートは、北米、欧州、アジア、アフリカ地域の 26 市場において、ファンドの投資家のエクスペリエンス (利便性) について評価することを目的としています。「手数料・費用」の章では、ある市場の投資家がミューチュアルファンド (追加型公募投資信託) を保有するために継続的に負担する費用と世界の他の市場の投資家が負担する費用を比較することで各市場の評価を行います。

米国 Morningstar のマネジャー・リサーチ・チームは、「上位」、「平均超」、「平均」、「平均未満」、「下位 (ボトム)」の評価尺度を用いて各市場を評価付けします。オーストラリア、オランダ、米国に「上位」の評価を付け、手数料・費用の面で投資家にとって最も有利な条件を備えた市場としています。一方、イタリアと台湾は、手数料・費用が最も高い市場であると指摘し、再び「下位」の評価としました。

米国 Morningstar のマネジャー・セレクションのヘッドを務め、この調査レポートの共著者である Grant Kenaway は次のように述べています。「世界のファンド投資家にとって朗報なのは、より費用の安いファンドへと資金が流れていること、既存の投資商品の費

用設定が見直されていることの双方が相まって、多くの市場で費用が低下傾向にあることです。ファンドの販売やアドバイスに関わる費用を、運用管理費用（信託報酬）から切り離す動きが広まることは、透明性を高め、投資家が投資で成功を収めるために必要な力となります。しかし、世界のファンドの業界構造は、購入時に手数料を徴収するしくみを温存させ、また、欧州とアジアの18市場では、ファンドの保有期間中に支払う費用に販売やアドバイスに関わる費用を組み込むことが広く浸透しており、投資家にとって重要な明確さの欠如を招いている可能性があります。このことが、投資家よりも、販売会社、中でも銀行に大きな恩恵をもたらすという、利益相反につながるインセンティブを生み出していると我々は確信しています。

図表1 手数料・費用の評価結果

上位	平均超	平均	平均未満	下位
Australia	↑ Korea	↑ Belgium	Canada	Italy
Netherlands	↑ Norway	Denmark	↓ China	Taiwan
United States	↑ South Africa	Finland	France	
	Sweden	↑ Germany	Hong Kong	
	United Kingdom	India	Mexico	
		Japan	Singapore	
		↓ New Zealand		
		↑ Spain		
		↓ Switzerland		
		↓ Thailand		

Source: Morningstar, Inc. ↑ Improved since last study ↓ Declined since last study

図表1は、「グローバル・インベスター・エクスペリエンス」の「手数料・費用」の調査対象となっている各市場の評価を表しています。矢印は、2019年に行われた前回の評価に対し、各市場の評価がどちらの方向に変化したかを示しています。

「グローバル・インベスター・エクスペリエンス」の第1章「手数料・費用」のフルレポートは、[こちら](#)（英語版のみ）から入手できます。

- 国内籍のファンドおよび国内で販売されているファンド（外国籍を含む）の資産額加重経費率（中央値）は、26市場の大半において、2019年の前回調査時に比べて低下しました。国内籍のファンドでは、特にアロケーション型と株式型ファンドでその傾向が顕著で、両カテゴリとも手数料が減少したのは17市場となりました。

- 資産額加重経費率（中央値）の低下には、より費用の安いファンドへと資金が流入していること、既存の投資商品の費用設定が見直されていることの両方が貢献しています。個人投資家が、複数の販売チャンネルにアクセスできる市場では、投資家は投資費用を最小限に抑えることの重要性を強く認識するようになり、この結果、投資家はより費用の低いシェアクラスのファンドを選好するようになりました。
- 英国、米国、オーストラリア、オランダ以外では、投資家がファイナンシャル・アドバイスに対する報酬を直接支払うことはまれです。販売手数料やトレイル・コミッション（運用会社が受け取る信託報酬の中から、販売会社に支払われる報酬）を制限する規制の欠如により、多くの投資家は求めてもいない、あるいは受けていないアドバイスに対する報酬の支払いを余儀なくされることがあります。イタリアのように、トレイル・コミッションがないシェアクラスが販売されている市場でも、一般の個人投資家はそのようなファンドに簡単にアクセスすることはできません。ファンドの販売は、仲介業者、特に銀行によって牛耳られているからです。
- 米国やオーストラリアでは、ファイナンシャル・アドバイスに対する報酬を直接支払う方式へと移行していることをうけ、パッシブ運用など費用が比較的安いファンドに対する需要増に拍車がかかっています。金融機関やアドバイザーの間では、販売やアドバイスに関わる費用が組み込まれた割高なシェアクラスを避ける動きがさらに強まっています。この傾向は、インド市場やカナダ市場でも広がっています。
- **ETF 市場における価格競争の激化によって、ファンドの手数料に対する引き下げ圧力が世界中で強まっています。**米国では、一部のインデックス運用のファンドやETFの手数料が競争によってゼロまで下がりました。このような競争圧力は、ファンド市場の他の地域にも拡散しつつあります。
- オーストラリア、オランダ、米国は、「上位」の評価を獲得しました。販売やアドバイスに関わる費用を、運用管理費用（信託報酬）から切り離すことが一般化していることが評価されました。今回の「手数料・費用」の調査は4回目となりますが、この3カ国は連続して最上位の座を占めています。
- 銀行がファンドの販売を支配している市場では、市場の圧力のみで、個人投資家の資産額加重経費率が低下してゆくという兆候はありません。このことは、イタリア、台湾、香港、シンガポールで明らかになっています。これらの市場では、

費用の高い外国籍のファンドの販売が、費用の安い国内籍のファンドよりも圧倒的に多くなっています。

- **英国では、アセスメント・オブ・バリューを年一回実施するという規則が導入されました。**これは、2019年のGIE調査以来、規制面で最も重要な進展の一つです。この規則は、各ファンドが徴収した手数料の見返りとして投資家に提供したサービスの価値を明らかにするよう資産運用会社に義務付けています。

評価手法について

GIEの調査には、ファンドの投資家に優れた利便性をもたらす要因についての米国 Morningstarの見解が反映されています。調査は、追加型公募ファンドと上場ファンド（ETFs）を主な対象としています。どちらも、一般の人々が集団投資型商品に投資する際の典型的な手段です。GIEのこの章では、前回の調査と同様に、実績報酬の構造や開示や、投資家が販売手数料あるいは販売やアドバイスに関わる継続的な費用の負担をどの程度回避できるかに加え、市場ごとの資産額加重経費率（中央値）を元に市場の評価を行いました。調査は、各市場を、アロケーション、株式、債券の3つのファンドグループに区分して行います。経費率は、国内販売ファンド（外国籍を含む）と国内籍ファンドの二つの視点に立ち、それぞれ算出しました。今回の最新の調査では、国内籍以外のファンドに投資する国内の投資家の傾向がより正確に反映されるよう、各市場で国内販売ファンド（外国籍を含む）の経費率を算出するための資産額の加重方法に調整を行いました。

米国 Morningstar, Inc. について

米国 Morningstar, Inc.は、北米、欧州、オーストラリア、およびアジアで事業を展開する独立系大手投資調査会社です。個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、資産運用会社やアセットオーナー、退職プランのプロバイダーやスポンサー、および、債券市場やプライベートキャピタル市場の機関投資家の皆様に、多岐にわたる商品やサービスを提供しています。資産運用商品、上場企業、プライベートキャピタル市場、債券、リアルタイムのグローバル市場データの分野などを網羅した広範にわたる投資のためのデータやリサーチを提供しています。また、投資助言を専門とする子会社を通じて、資産運用サービスも手掛けており、2021年12月31日現在の助言・運用資産残高は、およそ2,650億米ドルに上ります。世界29カ国に事業拠点を置いています。詳細については、www.morningstar.com/company までお問い合わせください。米国 Morningstar のツイッターのアカウントは @MorningstarInc. です。

米国 Morningstar のマネジャー・リサーチ・グループは、Morningstar Research Services, LLC をはじめとする米国 Morningstar の複数の完全子会社で構成されています。各市場に付与される評価は、マネジャー・リサーチ・アナリストが行う定性的評価プロセスに基づいて決定されます。本リリースやレポートで言及されている各市場の評価は、評価プロセスの結果に基づく意見の表明で、保証されるものではありません。このプレスリリースと「グローバル・インベスター・エクスペリエンス」レポートは、情報提供のみを目的としています。

###

©2022 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.
MORN-R